

エリア	訪問先		9月6日 (木)	9月7日 (金)	9月8日 (土)	9月9日 (日)	9月10日 (月)	9月11日 (火)	9月12日 (水)	9月13日 (木) * 予定	
	(共通)							<ul style="list-style-type: none"> ・避難所ボランティアは充実（炊き出し要員除く） ・日赤など、外部救援団体が多数入り始める 			
青葉会館	被災状況						<ul style="list-style-type: none"> ・避難者32名（うち子ども4名、高齢者7名） ・物資ニーズ：食料、生活用品 ・一般の出入りあり 	<ul style="list-style-type: none"> ・老人会や町内会のネットワークが活用されている。 ・山の斜面やその下に住居があり、住めない人がいる。 ・断水地域は減ってきている。 ・町内会が先導して、自衛隊や町職員を動員し各戸訪問を実施。 ・保健師も各戸訪問を実施 ・物資ニーズ：うどん40食炊き出し希望（レトルト、非常食ニーズは飽和）⇒夕方再度確認すると、食数100食分に変更あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・うどん130食炊き出し実施 ・地域の歴史、追分地区の特性をヒアリング 	* 継続ヒアリングの実施	
	福祉関係情報						<ul style="list-style-type: none"> ・日常的介護は不要 ・アレルギー対応食のニーズ ・町内会が機能している 		<ul style="list-style-type: none"> ・炊き出し後、「久々に子供たちが笑った」との町民のコメント ⇒子どもに避難生活のストレスがかかっていたと思われる。何らかの早期支援の必要性。 ・仮設住宅への不安の声：町営住宅に入居することになると思うが、2階に上がるのに階段しかない。エレベーターのある苫小牧の住宅に付き合いのある高齢者が移住してしまうのではないかと、という心配。 ・94歳の高齢女性について、被災時に近隣住民が救出し、ケアしていた。 		
追分公民館	被災状況						<ul style="list-style-type: none"> ・物資ニーズ：食料、衛生用品（マスク、手袋） ←保健所の指導により衛生用品ニーズ。 ・対策本部は立ち上がっているが、物資ニーズへの対応は難しく、自己調整を求められていた。 ・避難者：150名 ・リーダーの不在。 ・白老からのボランティア：交代制（継続的に状況を把握しているわけではない） ・食事作りのボランティアが不足。 ・断水の地域が多い。 ・一般の方の出入りも多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・物資ニーズ：特になし ・避難所ボランティアは充実（炊き出し要員除く） 			
	福祉関係情報						<ul style="list-style-type: none"> ・子ども15名：子どもの遊びのニーズがあるが、ニーズが満たされている状況ではなく、おやつとゲームに時間を費やしている状況。 ・高齢者：6割 ・避難所には介護が必要な方はいない。 ⇔一部の高齢者（7名）：医務室に低い机に布団を載せてベッドとして活用している。（寝たきりになりがち） ・障がい者有していると目される方が数名いる（車いす、歩行器を利用している方） ・お風呂が9日からスタートしているが介護者不在でいけない高齢者もいる。 ・障がい者、障がい児関連団体からのコンタクトは無し。 	<ul style="list-style-type: none"> ・腹膜透析の事例を確認※ ・10-12日に（社福）札幌ノテ福祉会の介護福祉士ボランティアが避難所入り。 			

エリア	訪問先		9月6日 (木)	9月7日 (金)	9月8日 (土)	9月9日 (日)	9月10日 (月)	9月11日 (火)	9月12日 (水)	9月13日 (木) * 予定	
安平町	花園若草会館	被災状況					<ul style="list-style-type: none"> ・当初200名⇒この日は50名ほど。(うち子ども10名) ・宿泊者：30名 ・職員夜勤体制：1名(町職員) ・町職員は2交代制(白老町から2名町職員派遣) ・物資ニーズ：レトルト系食料(レトルト系は緊急性の高いのために保管しており、給仕者の負担が高い) ※水は8日から開通 ※周辺避難所情報が入っていない 	・物資ニーズ：あり	・物資ニーズ：なし	* 継続ヒアリングの実施	
		福祉関係情報					<ul style="list-style-type: none"> ・避難所の前の団地に、子どもが40~50名住んでいる。 ・障がい者は数名いるが、詳細は不明。 ・追分子ども園の紹介あり。 ・パニック障害2名(20代、40代) ・社協ボランティアについて、片付け優先のボランティアとなる予定であることを把握。 ・外部からの障がい者関連団体や親の会からの接触はなし。 ・避難所の高齢者：7割 ・高齢者：家屋状況の不安の声あり(今後の住居の心配、避難生活の長期化への不安) 		・パニック障害の事例が落ち着く(病院受診)		
	早来中学校	被災状況									
		福祉関係情報									
	早来小学校	被災状況						・物資ニーズ：なし。		・13時に避難所移動実施。 ⇒町民センター、スポーツセンターへ。	
		福祉関係情報						<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級6名(重度障がいは無し) ・土曜日に苫小牧の放課後デイに通っている。 			
	安平町民センター	被災状況			◎	<ul style="list-style-type: none"> ・対策本部との連絡体制構築中の状況。 ・物資(食料、生活用品、衛生用品)、人員ともに不足している印象。 ・避難所の人数も把握されず。 ・水は使用可能な状況。 ・通行止めが多い周辺状況。 ・自衛隊の発電機で電気供給あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物資供給実施。 ・町職員は2名交代制。町外からも2名応援に入っている。 	◎			
		福祉関係情報				<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者、障害児の在宅支援をしているという情報あり。 ・高齢者の衣服など不足。 ・高齢者の入浴ができていない。 ・ほぼ全員が椅子に座って過ごしている様子だった。 ・子どもはひと家族のみ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども10名 ・寝たきり高齢者4名。保健師が対応。(保健師常駐) ・在宅生活者が多く、ヘルパー事業所が支援していたが、現在は事業所は機能停止中。 				
	早来こども園	被災状況			<ul style="list-style-type: none"> ・子ども受け入れ開始 ・電気復旧 ・断水中。手洗い等の不安。 ・ボランティアは30名いる。(保育、作業) ・町内在職員は半数ほどの出勤状況。 ・園児数：通常は80~90名で、現在は半数ほど。 ・地震当日はお泊り会だった。 				◎		
		福祉関係情報			<ul style="list-style-type: none"> ・避難所ではないが、寝泊まりしている家族が9世帯いる。園長と副園長が交代制で夜間勤務。 						

エリア	訪問先		9月6日 (木)	9月7日 (金)	9月8日 (土)	9月9日 (日)	9月10日 (月)	9月11日 (火)	9月12日 (水)	9月13日 (木) *予定	
むかわ町					・自宅に戻れる見込みの立たない高齢者の不安						
新ひだか町					◎ ・物資運搬 ・備蓄の必要性について関係法人と打ち合わせ	・備蓄用物資供給（発電機など）。		◎			
白老町					*道社協より白老町内の福祉施設の物資供給の依頼アリ。	食料（290食×数日分）の物資供給					
小樽市				*道社協より小樽市内の福祉施設の炊き出し依頼アリ。	◎	◎	◎	◎			
札幌市内				*停電、断水地域の福祉施設に生活用水供給。	◎						